

# 放射線に関する大田区の取組み

平成23年6月23日 大田区広報課 電話 5744-1132

区では、区民の皆様からの放射線をめぐる不安の声を踏まえ、6月1日以降、様々な取組みを行っています。本ニュースは、大田区の取組みや今後の対応などについてお知らせするため、急遽発行したものです。

## 【放射線量の測定などについて】

### ●東京工業大学との連携体制を構築しました

区では、これまで東京都健康安全センターのモニタリングポストの放射線測定数値等を注視しながら、区民の皆様への安全・安心の確保について対応してまいりました。区民の皆様への安心を向上させるため、6月3日に国立大学法人東京工業大学との間で放射線量率の測定等に関する協力協定を締結し、放射線問題に対し、連携して対応することといたしました。

### ●東京工業大学 原子炉工学研究所の放射線測定データを公表しています

東工大が設置し、連続計測しているモニタリングポストの測定データを提供いただき、大田区のホームページで6月1日より公表しています。

### ●大田区独自に大気中の放射線量を測定しています

6月15日（水）から区内3カ所で独自に空間放射線量の測定を開始しました。測定は、週1回とし、大田区のホームページや区報などで公表します（今後、大田区被災地支援ニュース等により、区設掲示板に掲出する予定です）。測定方法も東京工業大学から学術的な支援を受け、測定結果については、原子炉工学研究所の監修のもとで、研究所保有のデータと併せて分析・評価をいただいています。

これまでの測定結果は下表のとおりです。

測定日時		天気	測定場所	測定値（地表から）		
				100cm	50cm	5cm
6月15日 （水）	10:00～10:20	曇り	東糀谷防災公園	0.10	0.11	0.12
	11:00～11:15	曇り	大森地域庁舎	0.09	0.10	0.11
	13:10～13:23	曇り	本蒲田公園	0.08	0.08	0.08
6月22日 （水）	10:00～10:12	晴れ	東糀谷防災公園	0.10	0.10	0.11
	11:00～11:15	晴れ	大森地域庁舎	0.09	0.10	0.11
	13:00～13:17	晴れ	本蒲田公園	0.07	0.08	0.08

単位：μSv（マイクロシーベルト）/h（時）

### ●区立小・中学校、保育園、大規模公園、区営プールで空間放射線等を測定します

子どもと保護者の皆様へ安心していただくために、6月下旬から区立小・中学校、保育園、大規模公園など161箇所についても、順次空間放射線量を測定していきます。小・中学校では校庭とプール水も、保育園では園庭と砂場においても測定します（プール水は放射性物質の測定となります）。

（放射線測定についての問合せ先：環境保全課環境調査担当 TEL5744-1367）

## 【放射線について理解していただくための取組みについて】

### ●緊急講習会「放射線を理解しよう 震災による原発事故に関連して」を開催しました

区では、区民の皆様へ、学術データなどをもとに、放射線を理解し、健康不安などの解消に役立てていただくための情報提供にも取り組んでいます。

東京工業大学のご協力のもと6月17日（金曜日）に、「放射線を理解しよう 震災による原発事故に関連して」と題した緊急講習会を大田文化の森で開催しました。当日は、130名の方々のご参加があり、多くの方から「講習を聴いて安心した」、「データの積み重ねが大事」などの感想をいただきました。

### 『放射線とは自然界にも存在、放射線量は場所や建物等の影響で変化する』

講習会では、まず、東京工業大学で原子炉物理学を専門とする小原徹准教授から「放射線とはそもそもどういうものか」の解説がありました。小原先生は、放射線は「原子や原子核をつくっている微粒子が飛び出てきたものと電磁波の2種類があり、光がぶつかるイメージで、体には直接感じないもの」と説明。放射線はもともと自然界に存在するもので、「生命は、その環境の中で進化し、自分を守る能力を持っている」と放射線と生命の基本的な関係について解説しました。その上で、放射線量は「場所や建物、時間、天候などによっても変わってくるものである」とし、「東工大での測定値は、現在平常値を推移しており健康上問題はない」と測定値をどのように見たらよいかについて説明がありました。

### 『高い値の線量を一気に受けなければ影響はない、被災者への風評はやめましょう』

次に東京工業大学で環境安全衛生学などを専門とする長谷川紀子准教授から、風評被害や健康不安の解消にむけた解説がありました。放射性物質については、現時点での評価として「今後はセシウム137に気をつけたほうがよいが、それでも極めて微量であり、健康障害がおこるレベルではないと考えている」とし、土壌への影響も現在は問題のあるレベルではないと語りました。また、積算線量についても、「区民は高い値の線量を一気に受けるわけではないので健康被害を起こす確率は極めて低い」と解説。さらに、被災者に対する風評被害に警鐘を鳴らし、「放射能はうつるものではありません。正しく理解して欲しい」と呼びかけました。

### 第2回「緊急講習会」開催のお知らせ

7月1日（金）午後2時～4時

会場：アプリコ展示室（先着280名）

※内容は、第1回と同じです。

（問合せ先：環境保全課 TEL5744-1366）

講習会の概要は、区のホームページに掲載しています。また大田ケーブルネットワークのご協力により、会場の様子がホームページからも動画でご覧いただけます。

<http://www.city.ota.tokyo.jp/>